



豊玉二中だより

令和元年度 第11号
発行日 3月10日(火)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

「3. 11を忘れない」

校長 神山信次郎

平成23年3月11日午後2時46分、東北地方太平洋沖で我が国観測史上最大のマグニチュード9.0という巨大地震が発生しました。この地震は最大震度7という強い揺れに加えて大津波を発生させ、東北から関東に至る広い地域に深刻な被害を与えました。被災地では、民家や学校、商業施設、工場だけでなく、街そのものが破壊されてしまいました。被害はそれだけではありません。一万数千もの尊い命が大震災によって失われたのです。

この文章は、防災訓練補助教材「3. 11を忘れない」の冒頭に書かれていたものです。

文を読んでいると、震災が発生した当時のことがはっきりと頭に浮かんできます。その当時の映像には、「水しぶきをあげながら押しよせる津波」「黒煙を上げて燃えさかる炎」「家屋や車、逃げ遅れた人々が濁流に流され、のみこまれていく様子」など、被災地の被害が生々しくテレビ画面に映し出されていました。

東京でも、震災被害はおこりました。電車などの交通機関が運行停止や安全規制に追い込まれ300万人以上の方が職場から帰宅できなくなりました。また、液状化によって建物被害が拡大したり、水道水の放射能汚染が報じられたりしました。

警察庁の発表によれば東日本大震災で亡くなられた方は15,884人、行方不明の方は2,640人、けがをされた方は6,150人となっています。そして、被災された方々は今も厳しい環境の中で生活をしています。

私たちの住む東京も大地震が発生する危険が増しています。内閣府の発表によれば、マグニチュード7クラスの首都直下型地震の発生率は今後30年以内に70%と高い予測になっています。この地震は東京を含む南関東地方のどこで発生してもおかしくない状況にあるそうです。私たちは、東日本大震災のことを常に思いおこし、大切な命を守り、震災被害を最小限にとどめる努力をしていく必要があります。そのために「まず、自分(家族)の命は自分(家族)が守る一自助、次に近隣同士が助け合い地域を守る一共助、そして国・都や区の支援を得て復旧活動を進める一公助」の考え方に立って、日頃から地震などの災害対応力を高めていくことが大切です。3.11の教訓をしっかりと学び、今後に備えていかなければなりません

【3年生の皆さんへ】

卒業式が間近に迫ってきました。中学校生活の様々な出来事が思い出されていることでしょうか。卒業式当日は、中学校(義務教育)最後の授業と考えてください。できる限り、皆さんの最後の授業にふさわしい最高の舞台を作り、祝福したいと思います。

3年生の皆さん一人一人が、豊玉第二中学校の卒業生としての誇りと自信を胸に巣立って行ってほしいと思います。そして卒業式当日には皆さんの最高の笑顔を見せてください。

